

又、其の新消息を齎した人々について、終りに考へておくのは、將に然るべき事の様である。旅行者の最大の利便の爲、又、我々の知識の進歩の爲に、此の利益のない事業に身命を捧げ、暑熱の烈しい森の奥で働く事を諾した人々の中で、既に二人は事業の爲に斃れたのである。大彫刻家の息であつた、シャル・カルポー Charles Carpeaux は痲病に罹つて壯年にして逝き、コマイユは、シエム・レアプからアンコール・トムへ人夫の給金を持ち來る途中で強盜の彈丸に中つたのである。先達者が其の後繼者の安易と經驗とを得しむる爲に、身命を賭するのは、アジアのかゝる古い土地に於ける先達に有り勝ちの運命であり、之を思つて、こゝに托鉢、否、敬意を表すべき事と思ふものである。かくて、フランスが、アンコールで自國の様を考へ、其處に自國の名譽となすに足る理由は何かと、若し偶然にも心に浮べる人があれば、余は、片手には、之等のあらゆる辛苦を積んだ結果を示し、他には、之等犠牲者の墳墓を指示すのみである。